

「教員＝専門職」を保障するシステム としての教職大学院

※ビデオオフ マイクオフ にてご参加ください。
※名前（所属・学年等）をご入力ください。

露口健司(愛媛大学教職大学院・専攻長)
tsuyuguchi.kenji.mg@ehime-u.ac.jp

学部卒業者で教員採用試験を合格した者には、2年間の就任猶予制度が適用されます。

入試日程

2月募集（リーダーシップ開発コース）

試験日：2月27日（日）

出願期間：2月7日（月）～2月16日（水）

合格発表：3月10日（木）

2月募集（リーダーシップ開発コース以外の3コース）

試験日：2月22日（火）

出願期間：1月17日（月）～1月21日（金）

合格発表：3月10日（木）

専門職は6年間以上の養成期間を要する

- 医師（6年間＋研修生）
- 薬剤師（6年間養成）
- 研究者（学部4年＋大学院修士・博士5年）
- 弁護士（学部4年＋ロースクール2年）
- 臨床心理士（学部4年＋大学院2年）
- 経営管理職（学部4年＋ビジルススクール2年）
- 公認会計士（学部4年＋専門職大学院等2年）
- その他、公衆衛生や公共政策の専門職大学院

教員（学部4年＋教職大学院2年）

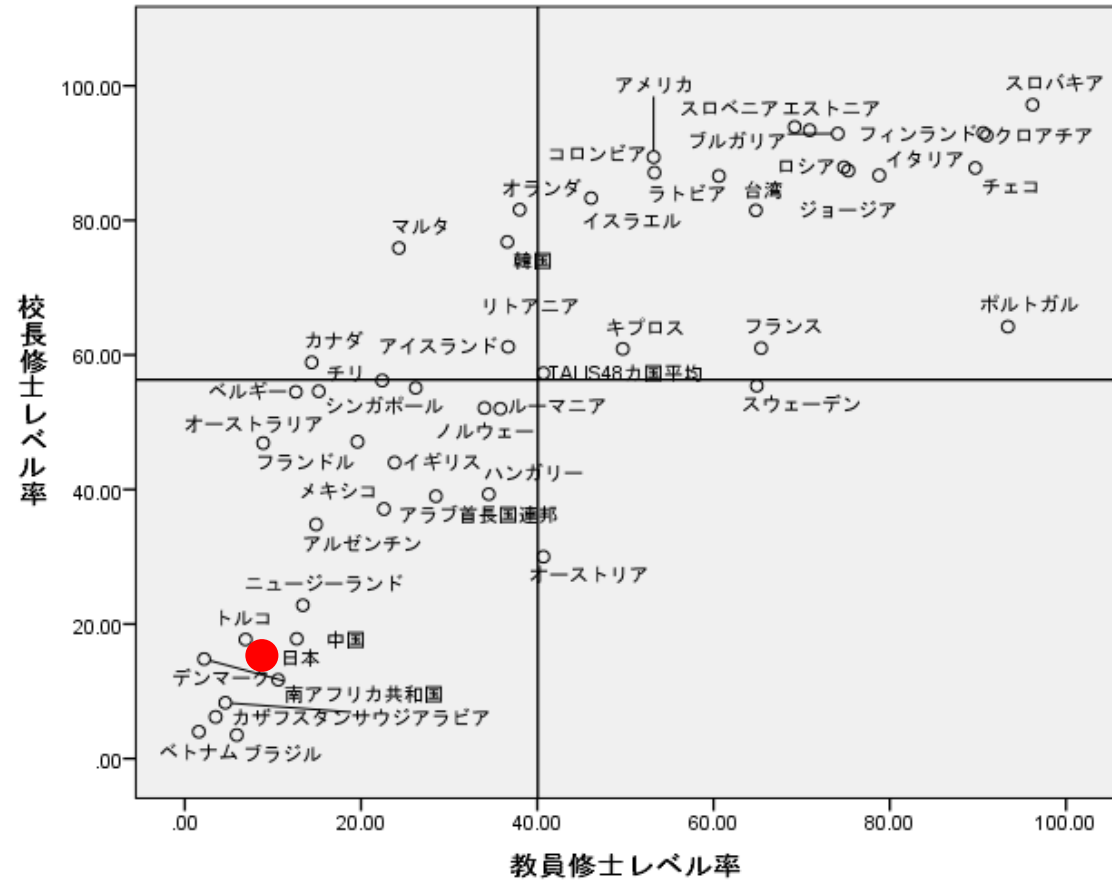
※中央教育審議会（2011）基礎免許（学部）＋一般免許（修士）
※自民党文部科学部会（2021）では、4＋1制度を提言

教員修士レベル率と校長修士レベル率

日本の教員は世界水準で見ると低学歴。

校長に至っては資格に疑念をもたれる可能性がある。

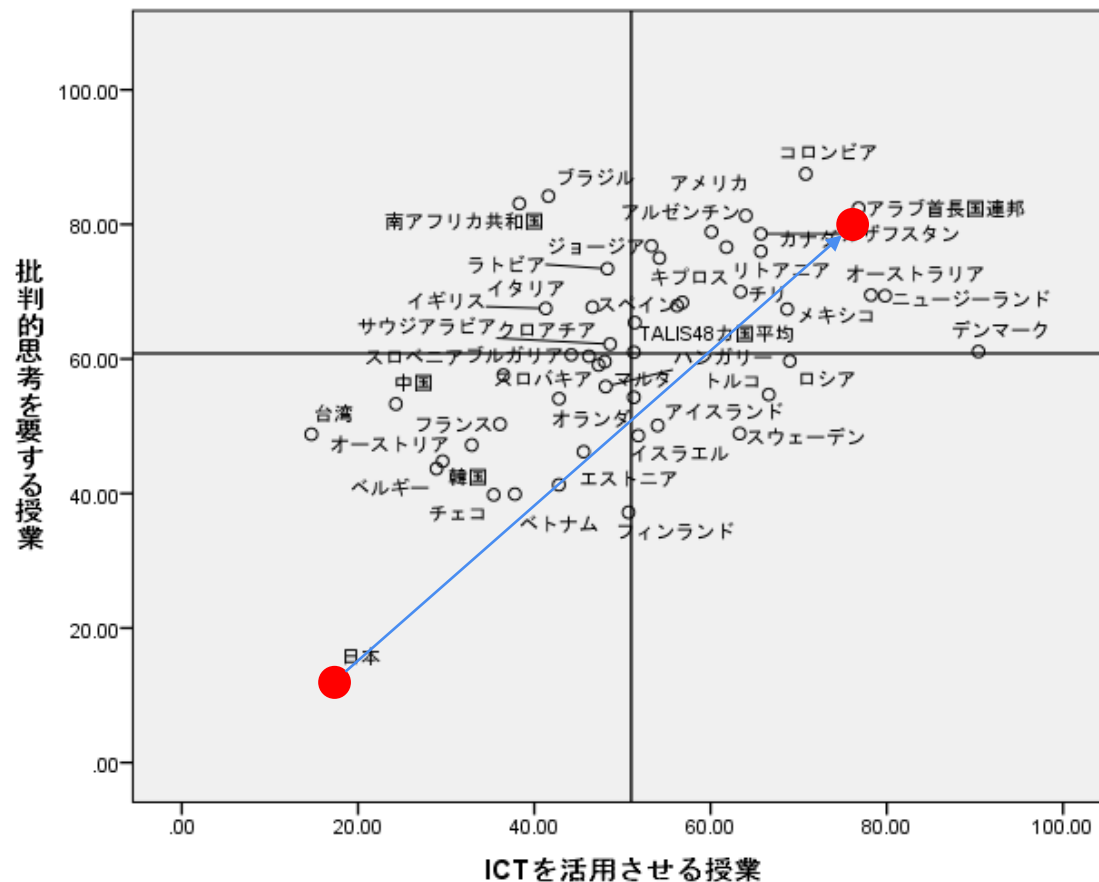
世界の教員は経験至上主義ではなく、理論と実践の往還で動いている。



ICT活用×批判的思考 [肯定率]

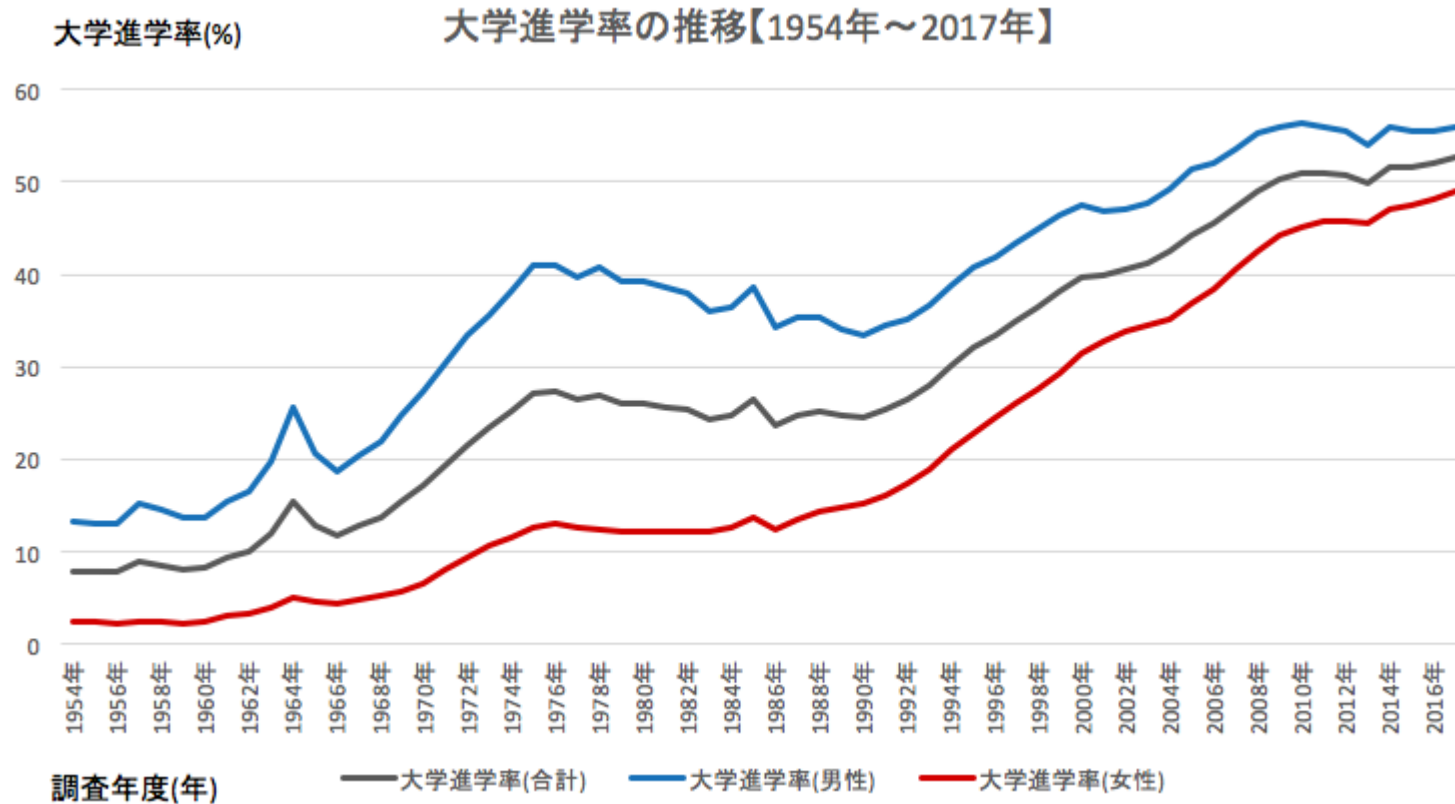
批判的・創造的思考、
ICT活用能力を育む授業
ができていない。

予測困難な未来を生き
抜く人材育成は可能か?



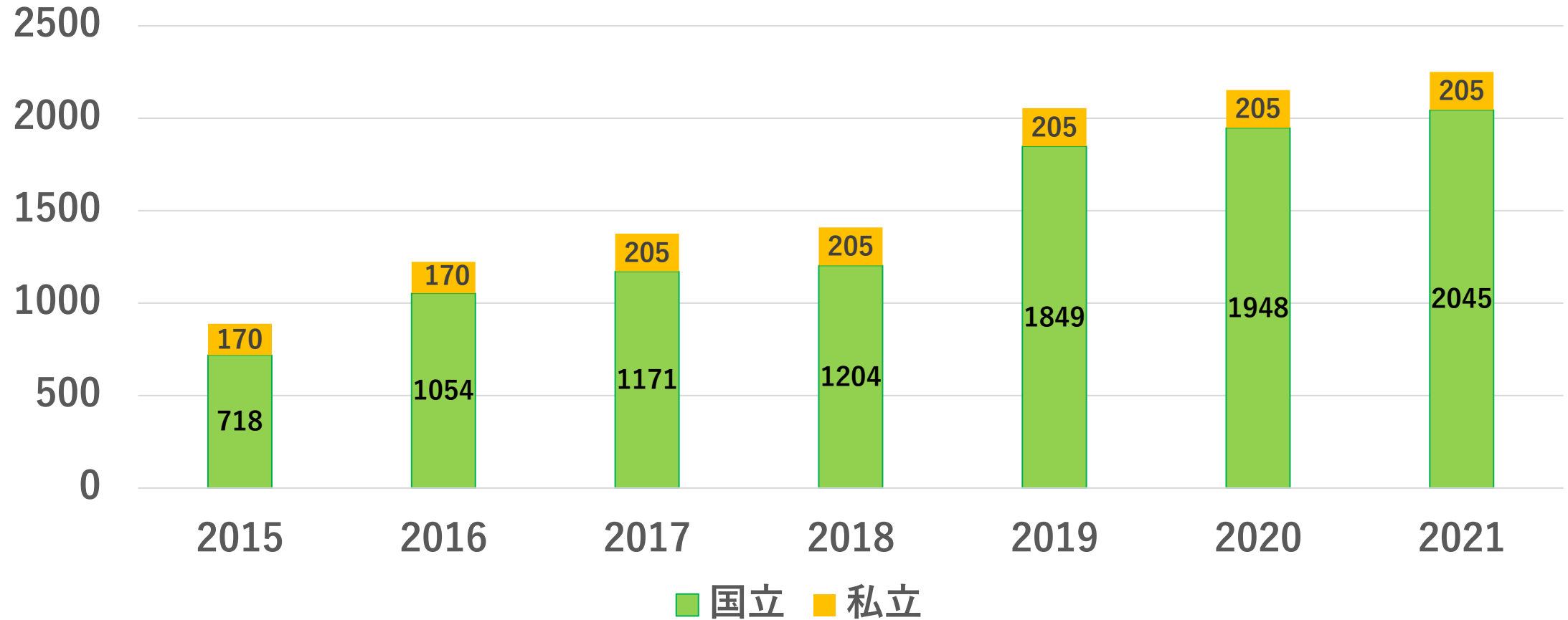
GIGAスクールの世界に、チョーク&トークの実習、数回の授業経験で飛び込もうとしている!!

保護者の大半は大卒になります あなたと同じ学歴です



全国教職大学院入学定員の推移

愛媛大学教職大学院は2020年度から定員を15名から40名に増員!!

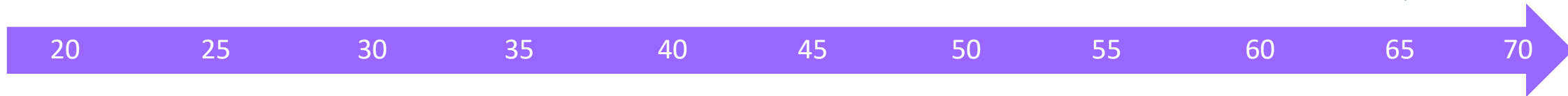


短期大学 ⇒ 4年制大学 ⇒ 大学院へ

教職キャリアの大変革期!!

定年延長で65歳!! そこから再任用で70歳??
職業キャリアが10年延びる??

現在の直線上に未来はない!!



40歳以上の
教員

現場経験10年以上

教職修士

学部卒業者

教職修士

現場経験10年以上

教職博士 (Ed.D)

中央教育審議会でも議案
となっている!!

安心の上位号棒スタート!!

愛媛県

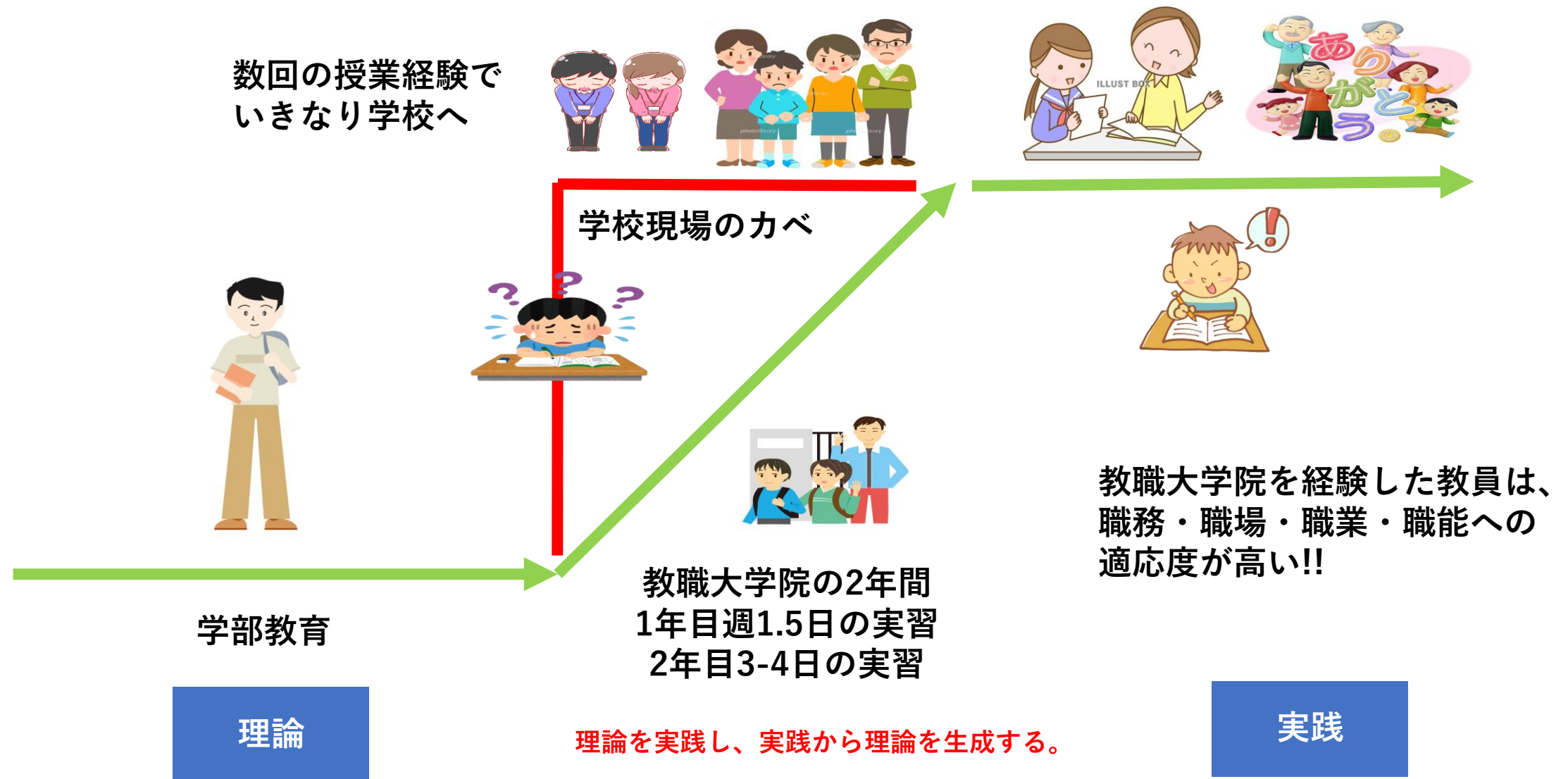
大卒小中教員 2級15号給198,400

大学院修了者 2級27号給220,100

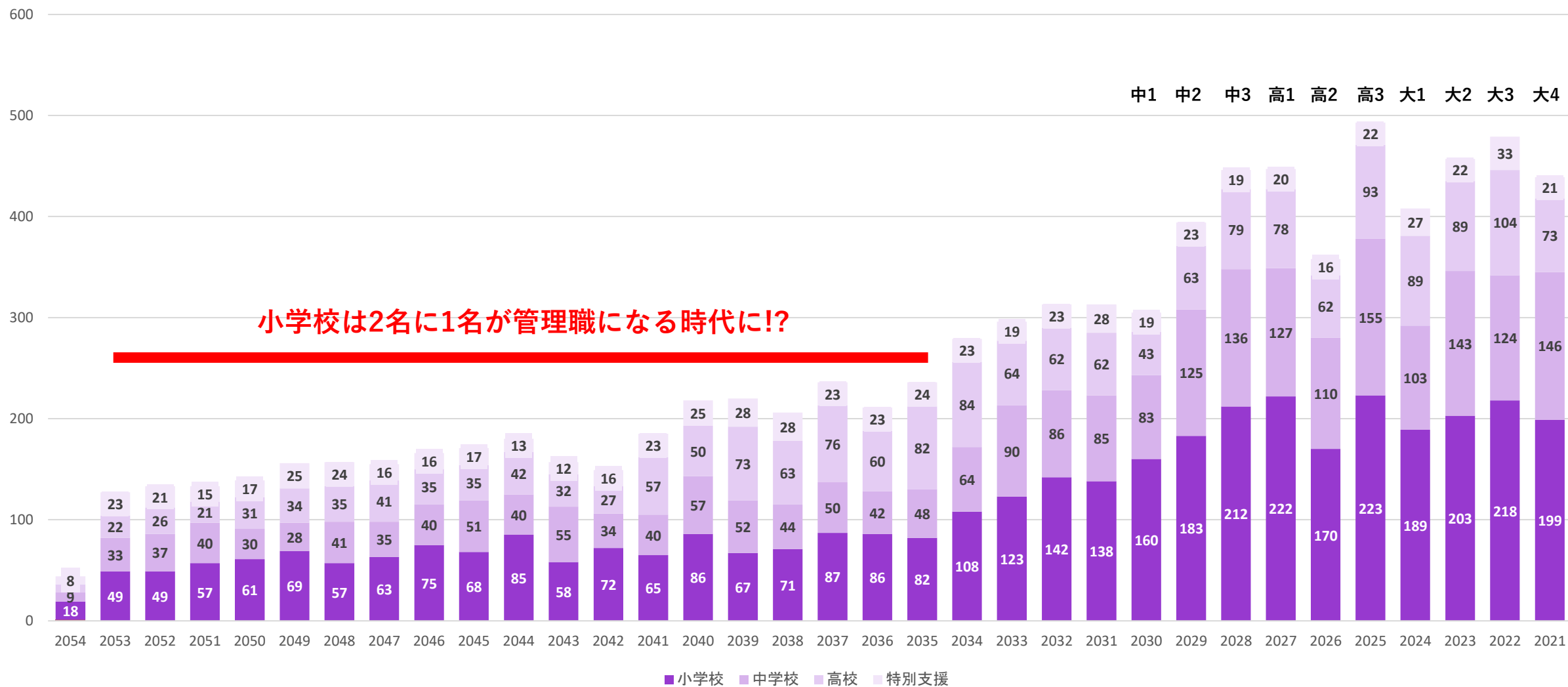
教職博士を取得して、
教頭・校長・教育長・大学教員等へ

教諭の最高が40万円、校長の最低が40万円
日本の市教育長1008万、町村教育長848万
大学教員200万～3000万
米国の教育長は、約60%が博士課程進学者。
約30%が博士号 (Ed.D) 取得者。

教職への適応を促進するグライダーモデル



愛媛県の教員採用状況(予測)



愛媛教職大学院には誰が進学しているの？

【2020年度事例】

愛媛大学教職大学院100% (43名)

現職教員
30%
(13名)

愛媛大学
教育学部
33%
(14名)

愛媛大学
理・法・工
26%
(11名)

愛媛大学以外
11%
(5名)

学部卒業者の83% (25/30名) は、愛媛大学出身学生

愛媛教職大学院には誰が進学しているの？

【2021年度事例】

愛媛大学教職大学院100% (45名)

現職教員
30.0%
(15名)

愛媛大学
教育学部
31.1%
(14名)

愛媛大学
理・法・農
24.4%
(11名)

愛媛大学以外
11.1%
(5名)

学部卒業者の83% (25/30名) は、愛媛大学出身学生

理念・カリキュラム・授業



愛媛に求められる教職大学院とは!!

スキルアップとキャリアアップを保障する
「地域の先端教育研究拠点」

● Professional Development

高度専門職人材の育成拠点

世界水準の専門職人材

● Research Development

先端知識の生成拠点

ICT活用トップ5%人材

● Innovation & Empowerment

愛媛の教育改革拠点

学校・地域活性化の中核人材

愛媛大学教職大学院コース設定

学部卒業者で教員採用試験を合格した者には、2年間の就任猶予制度が適用されます。

愛媛大学
教職大学院

リーダーシップ開発コース（5名）

- **現職教員**（学校管理職候補者）を対象
- 教員個々の指導力を目標達成に向けて統合する組織力の向上に貢献でき、また、教員相互をはじめとして、学校と保護者・地域との間に連携協力関係の基盤となる信頼を構築するリーダーシップを発揮できる学校管理職を養成する。愛媛の教育改革を推進するリーダー候補の育成

愛媛の教育改革を推進するリーダー候補の育成

教育実践開発コース（10名）

- **学部卒業者、臨時採用教員、現職教員**を対象
- 学校現場に出て即戦力またはミドルリーダーとして活躍できる学級経営・生徒指導・ICT教育についての高度な実践力と、教員個々の実践的指導力を目標達成に向けて統合する組織力の向上に貢献できる教員の育成

校内研究を推進するリーダー候補の育成

教科領域コース（15名）

- **学部卒業者、臨時採用教員、現職教員**を対象。
- 学校現場に出て即戦力またはミドルリーダーとして活躍できる教科指導についての高度な実践力と、教員個々の実践的指導力を目標達成に向けて統合する組織力の向上に貢献できる教員の育成

教科指導・研究を推進するリーダー候補の育成

特別支援教育コース（10名）

- **学部卒業者、臨時採用教員、現職教員**を対象。
- 学校現場に出て即戦力またはミドルリーダーとして活躍できる特別支援教育についての高度な実践力と、教員個々の実践的指導力を目標達成に向けて統合する組織力の向上に貢献できる教員の育成

特別支援教育・研究を推進するリーダー候補の育成

愛媛県教育委員会が教員育成指標において求める実践的指導力・組織力・信頼構築力・人間力の基盤を形成する。

DP1：知識・理解

学校改善・授業改善等に関して高度な専門的知識を習得している。

DP2：技能

学校改善・授業改善等にかかわる高い技能を身につけている。

DP3：思考・判断・表現

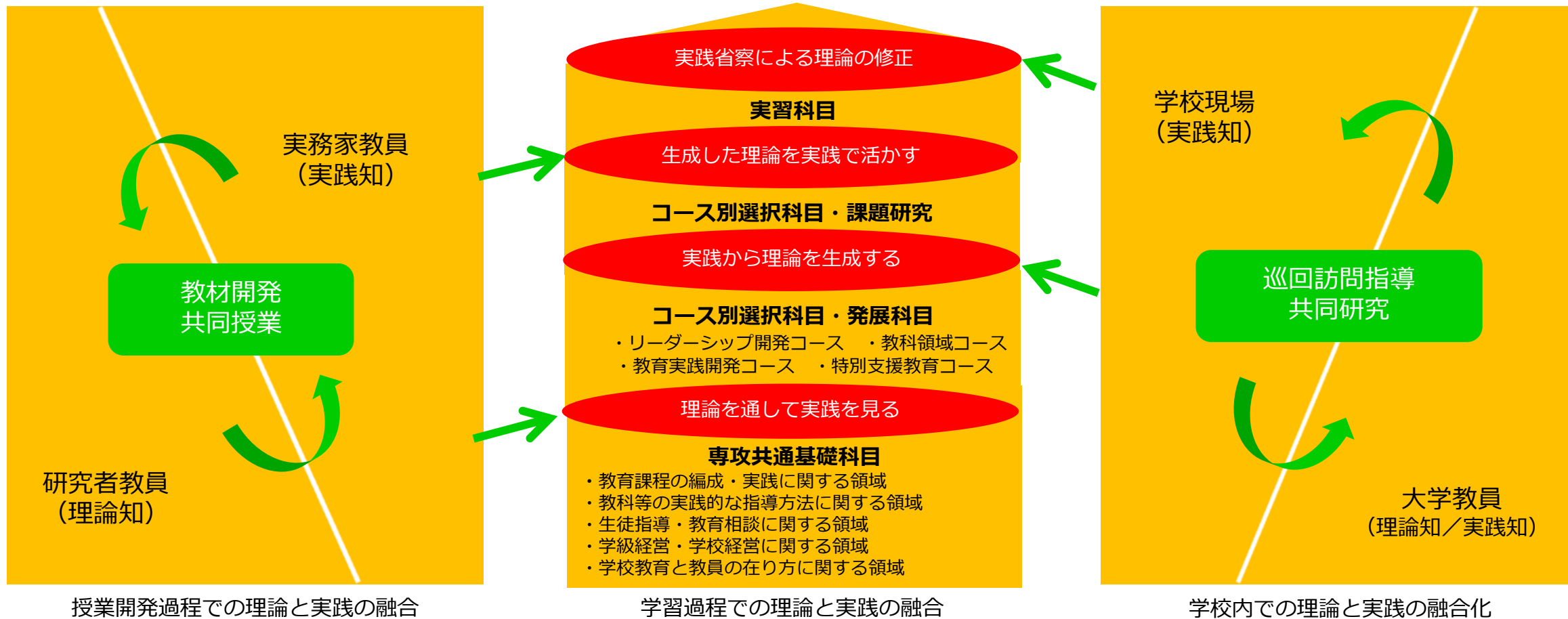
学校教育にかかわる現代的諸課題について、幅広く専門的な知見をもとに、その対応方を適切に考え、高度な実践力をもって学校改善・授業改善等に取り組むことができる。

DP4：関心・意欲・態度

学校に対する社会のニーズと自己の学習課題・研究課題を明確に意識し、実践を省察しつつ先導的に学習し研究する高度な教育実践力をもった専門的職業人として、自己の使命と責任とを自覚し、自主的に社会に貢献しようとする。

2年次

1年次



大学・教育委員会・連携協力校の連携協力体制

AP1：知識・理解

教職大学院での履修に必要な基本的専門知識を習得している。

AP2：技能

教職大学院での履修に必要な基本的技能を習得している。

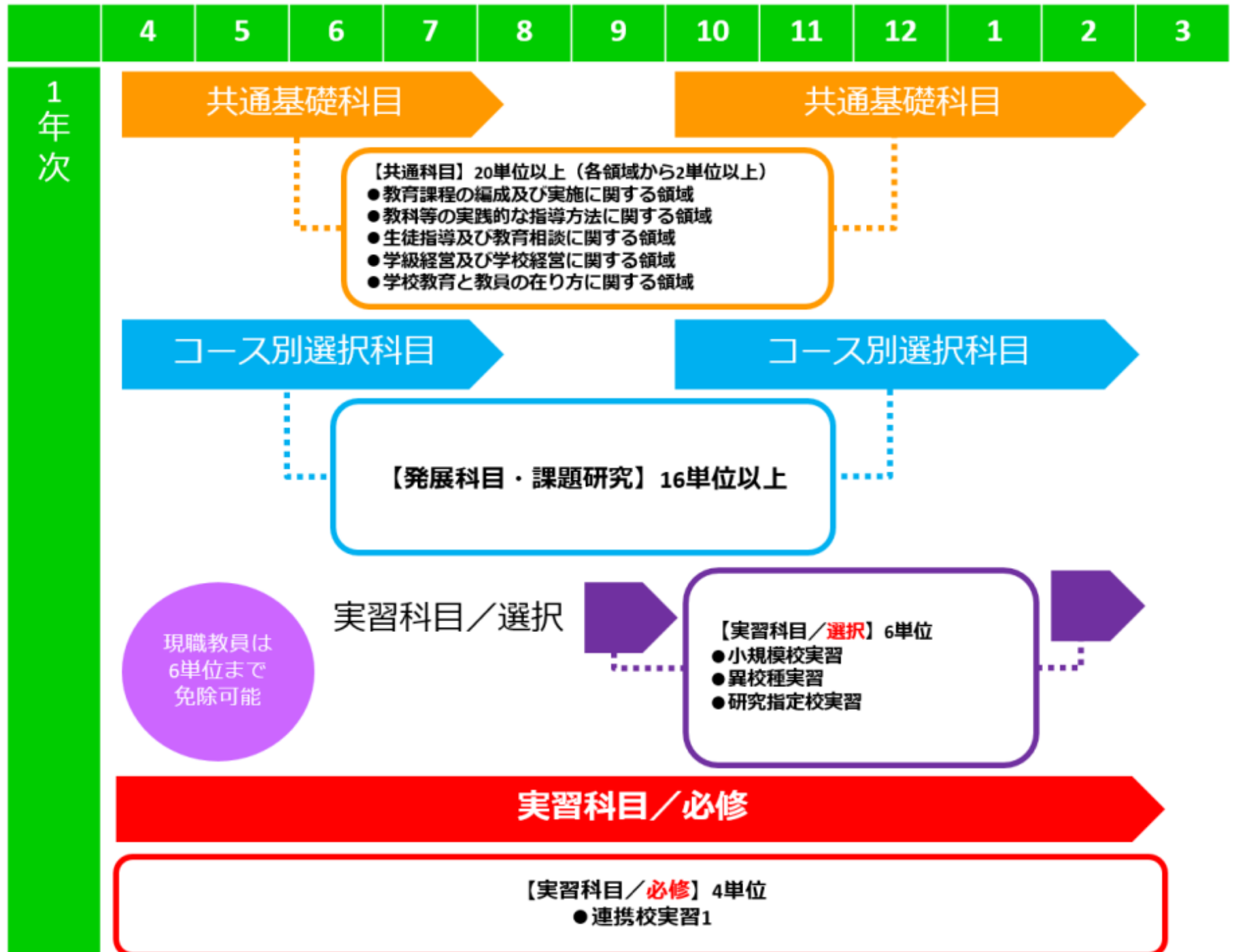
AP3：思考・判断・表現

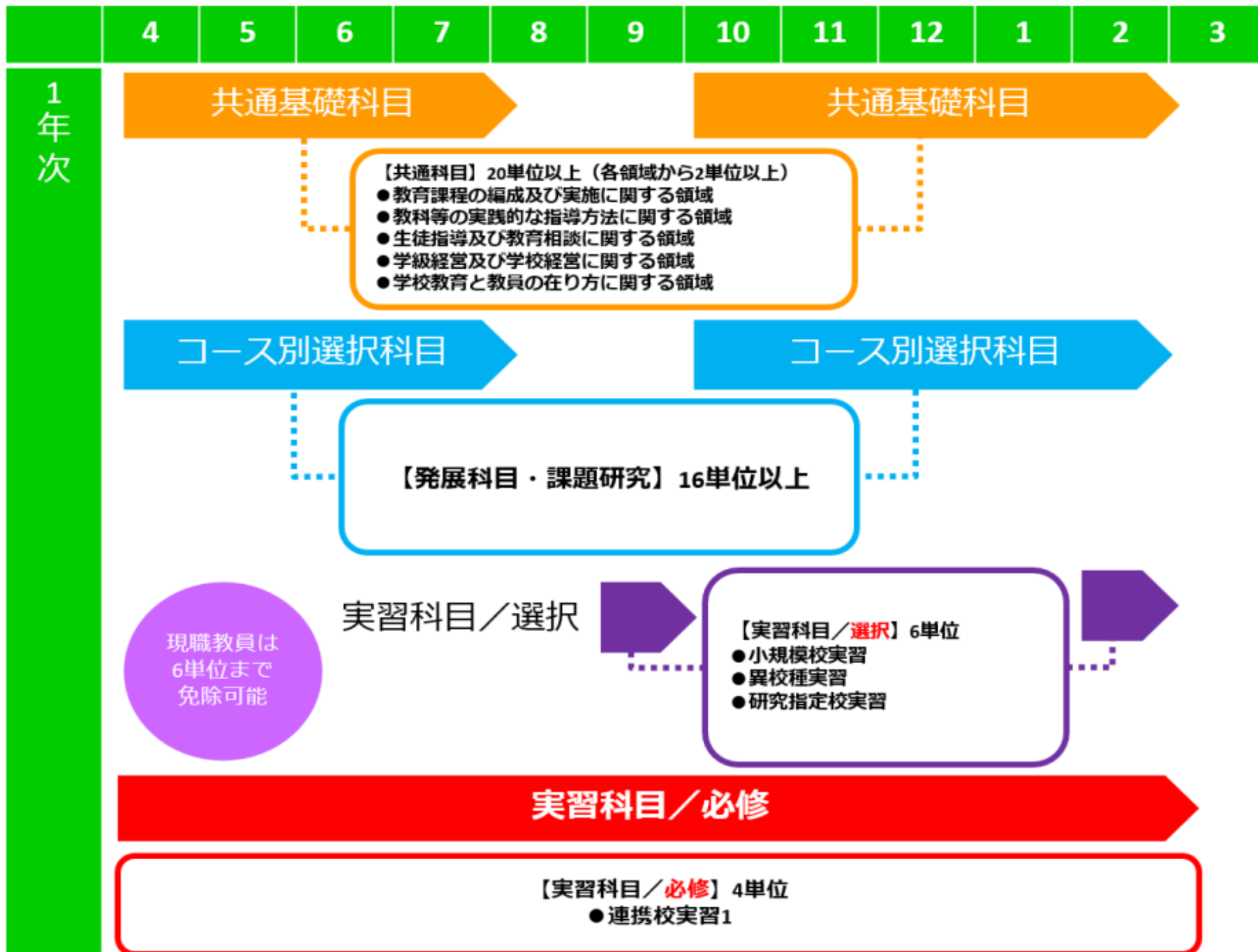
教育をめぐる現代的諸課題について、専門的な知見をもとに、その対応方を総合的に考え、その課程や結果を適切に表現することができる。

AP4：関心・意欲・態度

自己の学習課題・成長課題を明確に意識し、教師としてそれらに取り組もうとする意欲を有し、自発的に社会に貢献しようとしている。

リーダーシップ開発コース







専攻共通基礎科目（20単位）

区分	領域	授業科目	リーダーシップ開発	教育実践開発	教科領域	特別支援教育
			20単位	20単位	20単位	20単位
専攻共通基礎科目	教育課程の編成及び実施に関する領域	授業研究の開発実践	○	○		
		授業開発の理論と実際			○	○
	教科等の実践的な指導方法に関する領域	心の教育の理論と実践		○	○	
		授業における学習支援と指導法の事例分析	○			
		ICT教育の実践研究	○	○		○
	生徒指導及び教育相談に関する領域	小学校英語教育の実践研究		○		
		子どもの発達と感情		○	○	○
		生徒指導・進路指導の実践研究	○			
		子ども理解の心理アプローチ（調査法）		○	○	○
	学級経営及び学校経営に関する領域	特別支援教育の理論と実践		○	○	○
		学級経営の理論と実践		○	○	○
		学校組織のリーダーシップ	○		○	○
		データを活用した学校経営（調査法）	○			
	学校教育と教員の在り方に関する領域	子どもの資質・能力を高める学校経営論	○			
		教員の成長と職業倫理	○			
		教師のライフヒストリー省察と資質能力開発		○	○	○
学校・家庭・地域の連携論		○		○	○	
愛媛の教育改革		○	○	○	○	

※赤字は松山市教育研修センターでの公開授業

リーダーシップ開発コース コース別選択科目（16単位）

発展科目

エビデンスに基づく教育政策・事業分析	2
人材育成演習	2
教員研修プログラム開発演習【単位互換科目】	2
カリキュラムマネジメントと校内研修	2
信頼を構築する学校危機管理	2
地域とともにある学校の経営	2
学校改善の実践的研究【単位互換科目】	2

課題研究

学校改善課題研究1	◎	2
学校改善課題研究2	◎	2

注1) 数値は単位数

注2) ◎は必修科目、○は推奨科目

ICT教育高度化プログラムは再編検討中（さらに質の高い内容に）

教育実践開発コース コース別選択科目（16単位）

発展科目

		学級経営高度化 プログラム	生徒指導高度化 プログラム	ICT教育高度化 プログラム
教材開発高度化演習	2	○	○	○
特別な教育ニーズへの対応	2	○	○	○
学級経営の事例研究	2	○		
教育課題解決のための教育プログラム開発演習	2	○		
児童生徒・保護者の教育相談実践	2	○		
集団づくりの道徳論的アプローチ	2	○		
生徒指導機能を生かした学習指導	2		○	
子どもの問題行動の事例研究	2		○	
生徒指導と特別活動の実践研究	2		○	
進路指導の実践研究	2		○	
デジタル教材開発とその利用方法	2			○
ソフトウェアを活用した校務支援	2			○
プログラミングを活用した授業実践	2			○
ICTを活用した授業実践開発	2			○

課題研究

授業改善課題研究1	2	◎	◎	◎
授業改善課題研究2	2	◎	◎	◎
授業改善課題研究3	4	○	○	○

GIGAスクール対応

- 「ICTクラスルーム」の整備拡充（スマートボード、ipad×40、ロイロノート実装）
- 2号館に「GIGAスクール対応教室」を配備（遠隔オンラインの機能をもつ教室）
- 75型大型モニター3台、デジタル教科書（小中・全学年・5教科）配備済み

⇒R4年度より、デジタル教材開発プロフェッショナル養成講座開始予定!!

教科領域コース／コース別選択科目（16単位）

発展科目

		言語社会教育系プログラム	自然科学系プログラム	芸術生活健康系プログラム			
教科指導力高度化演習基礎	2	○	○	○			
教科指導力高度化演習発展	2	○	○	○			
		教材研究の基礎理論（現代の国語）	2	教材研究の基礎理論（代数）	2	教材研究の基礎理論（スポーツ）	2
		教材の開発と実践（現代の国語）	2	教材の開発と実践（代数）	2	教材の開発と実践（スポーツ）	2
		教材研究の基礎理論（言語文化）	2	教材研究の基礎理論（幾何）	2	教材研究の基礎理論（健康）	2
		教材の開発と実践（言語文化）	2	教材の開発と実践（幾何）	2	教材の開発と実践（健康）	2
		教材研究の基礎理論（書写書道）	2	教材研究の基礎理論（解析）	2	教材研究の基礎理論（食物）	2
		教材の開発と実践（書写書道）	2	教材の開発と実践（解析）	2	教材の開発と実践（被服）	2
		教材研究の基礎理論（歴史）	2	教材研究の基礎理論（応用数学）	2	教材の開発と実践（食物・被服）	2
		教材の開発と実践（歴史）	2	教材の開発と実践（応用数学）	2	教材研究の基礎理論（保育・家庭生活）	2
		教材研究の基礎理論（地理）	2	教材研究の基礎理論（物理）	2	教材の開発と実践（保育・家庭生活）	2
		教材の開発と実践（地理）	2	教材の開発と実践（物理）	2	教材研究の基礎理論（器楽）	2
		教材研究の基礎理論（公民）	2	教材研究の基礎理論（化学）	2	教材の開発と実践（器楽）	2
		教材の開発と実践（公民）	2	教材の開発と実践（化学）	2	教材研究の基礎理論（鑑賞・創作）	2
		教材研究の基礎理論（英語学・言語科学）	2	教材研究の基礎理論（生物）	2	教材の開発と実践（鑑賞・創作）	2
		教材の開発と実践（英語学・言語科学）	2	教材の開発と実践（生物）	2	教材研究の基礎理論（歌唱）	2
		教材研究の基礎理論（第二言語習得）	2	教材研究の基礎理論（地学）	2	教材の開発と実践（歌唱）	2
		教材の開発と実践（第二言語習得）	2	教材の開発と実践（地学）	2	教材研究の基礎理論（絵画・彫刻）	2
				教材研究の基礎理論（電気）	2	教材の開発と実践（絵画・彫刻）	2
				教材の開発と実践（電気）	2	教材研究の基礎理論（デザイン・工芸）	2
				教材研究の基礎理論（機械）	2	教材の開発と実践（デザイン・工芸）	2
				教材の開発と実践（機械）	2	教材研究の基礎理論（美術理論・美術史）	2
				教材研究の基礎理論（材料加工）	2	教材の開発と実践（美術理論・美術史）	2
				教材の開発と実践（材料加工）	2		

課題研究

教材開発課題研究1	2	◎	◎	◎
教材開発課題研究2	2	◎	◎	◎
教材開発課題研究3	4	○	○	○

ネットワークを活用した実習科目

実習科目（10単位）

- 異校種実習（1年次2週間＝2単位）
受験・配属予定とは別の校種で学びます。⇒組み合わせ自由です。
- 小規模校実習（1年次2週間＝2単位）
複式授業等について学びます。⇒小規模校×ICT
- 研究指定校実習（1年次3日間＝2単位）
全国から研究先進校を選び、訪問・観察します。⇒ICT教育の研究指定校
- 連携校実習（**1年次＝4単位**、2年次＝4単位＋2単位）
1年次は、週1.5日程度、学校で学びます。⇒週2日の実習

個々の成長/研究課題に応じた オーダーメイド実習

- 個々の職能成長課題に最大限に配慮した**オーダーメイド実習**。連携協力校**110校から実習校を選択**することが可能です。学びたいことが学べる実習システムです。（令和元年度より、高校17校、特別支援学校11校が参加）
- 学校側の実習担当者は、**エキスパート級の教員**。実務家教員、学校管理職、実習担当教員、研究者教員らのチームで実習を計画し指導にあたります。
- リーダーシップ開発コースでは、効果的な学校経営を実践している学校を県内から選び、実習として、定期的に学びに行くことができます。

M2の4月上旬に実施されるスタートアップ実習

M2の実習校での非常勤併用システム（附属学校非常勤講師、県立学校非常勤講師、公立中学校ICT支援員等）

教職大学院 令和3年度 時間割 (リーダーシップ開発/教育実践開発)

【前期】

	月	火	水	木	金
第1時限	(愛媛の教育改革準備)		巡回訪問指導予定	巡回訪問指導予定	課題研究
第2時限	◎愛媛の教育改革	◎授業における学習支援と指導法の事例分析	巡回訪問指導予定 ◎子どもの資質・能力を高める学校経営論	巡回訪問指導予定	課題研究
第3時限	◎授業研究の開発実践	◎授業開発の理論と実際	実習校からの移動	巡回訪問指導予定	◎学校組織のリーダーシップ
第4時限	◎小学校英語教育の実践研究	◎ICT教育の実践研究	◎特別支援教育の理論と実践	巡回訪問指導予定	◎子どもの発達と感情
第5時限	◎教員の成長と職業倫理	◎子ども理解の心理的アプローチ(調査法) ◎データを活用した学校経営(調査法)	◎教師のライフヒストリー省察と資質能力開発	巡回訪問指導予定	実習事前事後指導等 エクステンション
集中	◎心の教育の理論と実践 ◎生徒指導・進路指導の実践研究 ●教員プログラム尾開発演習 ●学校改善の実践的研究				

※実習について、ストレートマスターは、木曜終日と、水曜午前。現職は木曜のみ。
※◎は専攻共通基礎科目、●はリーダーシップ開発コース科目

【後期】

	月	火	水	木	金
第1時限			巡回訪問指導予定	巡回訪問指導予定	課題研究
第2時限	●人材育成演習	○教材開発高度化演習	巡回訪問指導予定 ●信頼を構築する学校危機管理	巡回訪問指導予定	課題研究
第3時限	●地域とともにある学校の経営	○学級経営の事例研究	実習校からの移動	巡回訪問指導予定	○進路指導の実践研究 ●エビデンスに基づく教育政策・事業分析
第4時限	○特別な教育ニーズへの対応	○集団づくりの道徳論的アプローチ ○デジタル教材開発とその利用方法	○生徒指導機能を生かした学習指導 ○ソフトウェアを活用した校務支援	巡回訪問指導予定	○生徒指導と特別活動の実践研究 ○プログラミングを活用した授業実践
第5時限	○児童生徒・保護者の教育相談実践 ○ICTを活用した授業実践開発	※教育実習 事前・事後指導	○教育課題解決のための教育プログラム開発実践	巡回訪問指導予定	※四国4大学遠隔授業 (現職教員)
集中	○子どもの問題行動の事例研究 ●カリキュラムマネジメントと校内研修 ◎学級経営の理論と実践 ◎学校・家庭・地域の連携論				

エクステンション活動（部活動）



教職大学院の部活動 エクステンション活動

大学連携セミナー

教材開発 プロフェッショナル講座

愛媛大学教職大学院とは？
平成28年度に開設された愛媛県唯一の教育系の専門大学院です。高度専門職人材育成の拠点、先端教育研究の開発拠点、愛媛の教育改革拠点として、愛媛県教育界に貢献することを使命として掲げております。

お申し込みは
コチラから！



会場 愛媛大学教育学部・松山市教育研修センター

無料 2か月前までに受付

【新規】リーダー養成研修サポート事業
こんな研修をしたい、こんな講師を招聘したいなど教育現場からのニーズに応えます。管理職、市町教育委員会等の要請に応じて、出前講座として、研修会実施をサポートします。開催有期の2か月前までに、お申し込みいただけます。要請に応じて対応します。

お申し込みは
コチラから！



愛媛大学履修証明プログラム/大学連携セミナー
令和3年度愛媛大学

チーム学校スペシャリスト 養成プログラム募集要項

お申し込みは
コチラから！




令和3年 4/19(月)～5/28(金) 令和3年 7/24(土)～3/26(土)

令和4年

会場 愛媛大学教育学部(松山市文京町3)

主催 / 愛媛大学大学院教育学研究科教育実践高度化専攻(教職大学院)
後援 / 愛媛県教育委員会、愛媛県教育研究協議会、愛媛県教育会



教職大学院の部活動 エクステンション活動

- 年間2回のソフトボール大会
教育学部生、教職大学院生、学部・大学院OB、大学教員らが、6チームを編成し、激戦を繰り広げた。





ESD授業づくり研修会 (第1回)



2020年

～ESDの授業づくり、そのポイント～

9月12日(土) 13:00-17:00

場所 愛媛大学教育学部1号館401講義室
(松山市文京町3番)

講師 河野 晋也 先生
(大分大学 大学院教育学研究科 教職開発専攻 講師)

昨年度まで、奈良教育大学附属小学校で教員をされていました。また、日本ESD学会の事務局長もされています。先生ご自身はESDの授業実践が豊富なことはもちろん、これまで全国各地でESD授業づくりの研修を実施されてきている方です。

- 内容**
- ① 講師による講演 (講義・演習)
 - ・ ESD / SDGs について
 - ・ ESD を学校現場で実施するためのポイント
 - ・ 実践事例
 - ② ワークショップ、質疑応答
 - ③ 交流タイム、情報交換・情報提供

どなたでも参加
できます。
参加費は必要
ありません。

- その他**
- ① 会場には、駐車場がありません。近隣の駐車場または公共交通機関をご利用の上、お越しください。
 - ② 会場の関係で、定員になり次第、申込受付を締め切ります。
 - ③ 国や県から出されている新型コロナウイルス感染防止策を講じた上で、実施します。またマスク着用、検温などにご協力いただけない方の参加はご遠慮ください。
 - ④ 新型コロナウイルスの感染状況により、実施日の変更や中止、WEBでの開催になる可能性もあります。参加者には決定次第、お知らせします。

申し込み方法

下記URLからお申し込みください。9月10日(木)まで受け付け予定ですが、定員に達した場合、受付を終了する場合があります。ご了承ください。

<https://forms.gle/foR5d9qGPv734jHz6>



お問い合わせ

愛媛大学教育学部教育臨床講座 藤原 一弘
(愛大・ESDラボ)
TEL: 089-927-9531
fujiwara.kazuhiro.xb@ehime-u.ac.jp

令和2年度

大学連携セミナー 『主権者教育研修会』

愛媛大学教職大学院・松山市教育センター事務所
シティズンシップラボ

このような疑問をお持ち方はぜひご参加ください!!

- 主権者教育って何だ!?
- コンピテンシー・ベースの授業作りの方法は?
- 地域社会と連携した授業作りの方法は?
- 異校種でどのような授業をしているの?

本研修会では、
小中高等学校における主権者教育の授業作りと評価
について学ぶことができます!

- 本講座は、各回ごとに申込をして参加することができます。
(裏面を参照してください。)
- 新型コロナウイルス感染拡大の状況により、講座の日程・内容が変更・中止になる可能性があります。(その際には、HP等で連絡をいたします。)
- 国や県から発表されている感染防止策を講じて開催します。(マスク着用や検温にご協力いただけない方は参加できません。)
- 状況により、愛媛県外の方はオンラインでの参加になることもあります。
(オンラインでの参加方法等に関しては、該当者に直接お知らせします。)
- 参加料無料 申し込みは先着順。定員になり次第〆切。

お申込みお問い合わせ: 各講座の案内は開催日の約1か月前に文書及びHPなどでお知らせします。直接文書が必要な方は以下のアドレスに連絡をいただければお送りします。松山市立学校の教職員の方々はミライムにて連絡をさせていただく予定です。

シティズンシップラボ事務局(愛媛大学教育学部井上昌善研究室) 愛媛県松山市文京町3番
<http://citizenshiplab.org/> (シティズンシップラボwebpage)

PC:inoue.masayoshi.xk@ehime-u.ac.jp (井上アドレス) TEL.089-927-9416(研究室直通)

NITSオンライン研修への参加【現職教員対象】

学校組織マネジメント指導者要養成研修（12/1-12/3） M2の5名が参加

地域とともにある学校セミナー（1/28, 2/5） M2の3名が参加

NIST道徳教育研修（9/23-9/25） M1の8名が参加

NITS生徒指導研修（9/7-9/9） M1の8名が参加

NISTスクール・マネジメント研修（9/31-10/4） M1の6名が参加

のべ32名が、NIST（教職員支援機構）のオンライン研修に参加

実践研究の推進



愛媛大学教職大学院

PROFESSIONAL SCHOOL FOR TEACHER EDUCATION
EHIME UNIVERSITY

実践研究報告書

PRAXIS AND RESEARCH REPORT

Volume 1 March 2018

第1号 2017年度刊行

第2号 2018年度刊行

第3号 2019年度刊行

第4号 2020年度刊行

教員組織



2021年度 教職大学院の教員組織 (専任教員)

http://ed.ehime-u.ac.jp/kyoushoku/education/education_05/

約80名の教員が指導にあたります!!

researchmap

日本語 | English 新規登録 ログイン



露口 健司
ツユグチ ケンジ (Kenji Tsuyuguchi) 更新日: 04/25

研究キーワード	研究分野	経歴	学歴	委員歴	受賞	論文	MISC	書籍等出版物	講演・口頭発表等
担当経験のある科目(授業)	所属学協会	共同研究・競争的資金等の研究課題	学術貢献活動	社会貢献活動					

メニュー

マイポータル

研究ブログ

資料公開

共著者の一覧

基本情報

所属 [愛媛大学 教育学研究科](#) 教授

学位 博士(教育学)(九州大学)

J-GLOBAL ID [200901042143798944](#)

研究キーワード 7

[社会関係資本](#) [信頼](#) [リーダーシップ](#) [教職論](#) [学校改善](#) [幸福](#) [ワーク・エンゲイジメント](#)

研究分野 1

• [人文・社会 / 教育学 /](#)



高木 嘉
2020-02-29
14:14:33 更新

教職大学院の教員組織 ※実務家教員

[リーダーシップ開発コース]

[露口 健司](#)

[尾川 満宏](#)

※[山内 孔](#)

※[池田 哲也](#)

※[兵藤 清一](#)

※[高橋 葉子](#)

※[掛水 高志](#)

[教育実践開発コース]

[白松 賢](#)

[橋本 巖](#)

[青井 倫子](#)

[大西 義浩](#)

[太田 佳光](#)

※[城戸 茂](#)

※[藤原 一弘](#)

※[遠藤 敏朗](#)

※[藤堂 浩伸](#)

実務家教員（敬称略）

- 城戸茂、兵藤清一、山内孔、池田哲也、藤原一弘
- 山本浅幸、遠藤敏朗、掛水高志、藤堂浩伸
- 榎木暢子、加藤哲則、冨田享子
- 秋山敏行、井上昌善、井上洋一、楠俊明、立松大祐、玉井輝之

※おおむね20年以上の教職経験等が必要。

※教職大学院専任教員の4割以上は実務家教員でなければならない。

※下線は、愛媛県教員経験者

入試・教員採用試験 実績



H28年度入試実績

	定員	志願者	合格者	入学者
リーダーシップ開発コース	5名	5名	5名	5名
教育実践開発コース	10名	17名	15名	14名

H29年度入試実績

	定員	志願者	合格者	入学者
リーダーシップ開発コース	5名	6名	6名	6名
教育実践開発コース	10名	20名	13名	13名

H30年度入試実績

	定員	志願者	合格者	入学者
リーダーシップ開発コース	5名	5名	5名	5名
教育実践開発コース	10名	22名	15名	12名

H31年度入試実績

	定員	志願者	合格者	入学者
リーダーシップ開発コース	5名	5名	5名	5名
教育実践開発コース	10名	28名	18名	18名

R2年度入試実績

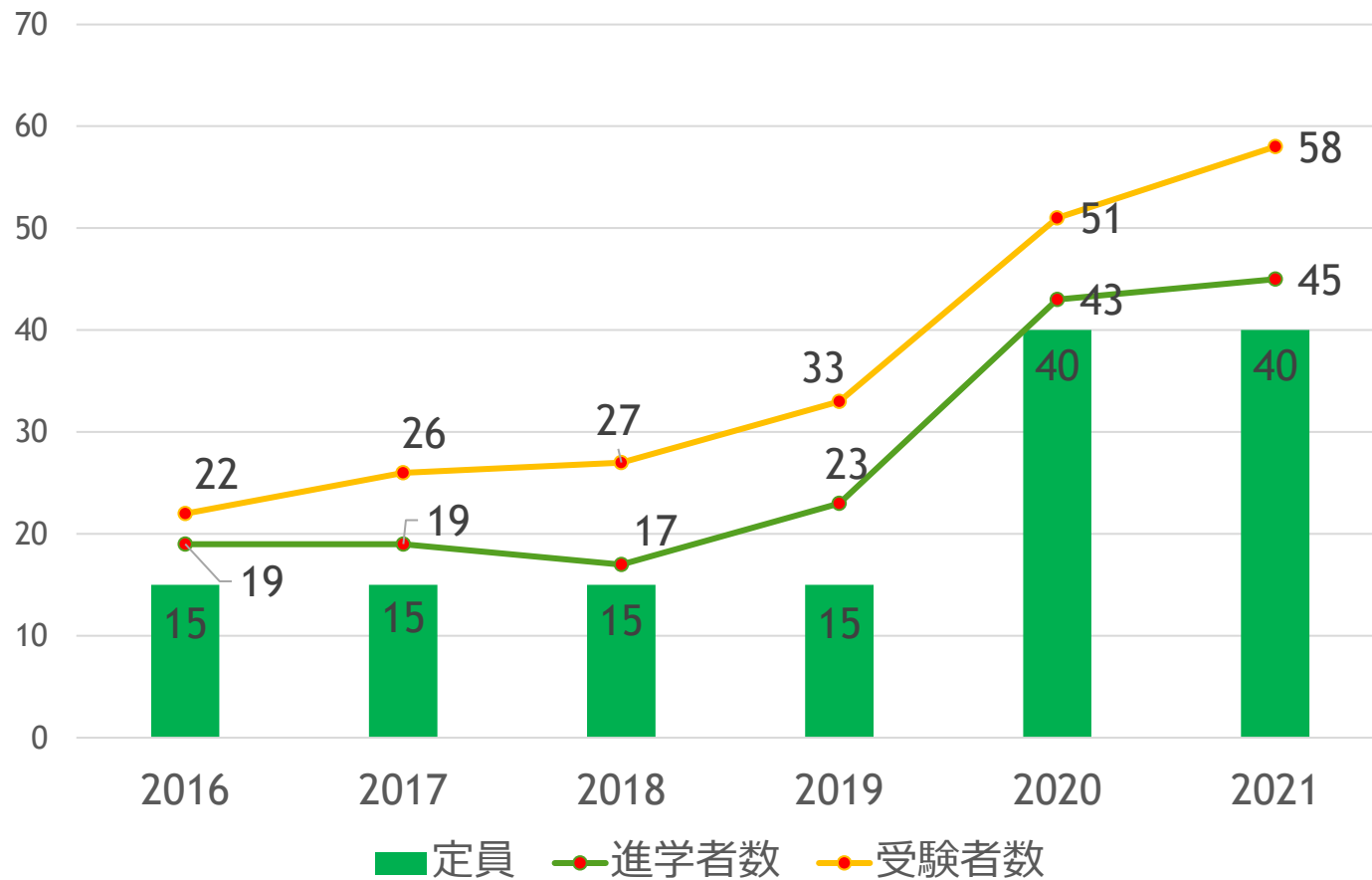
	定員	志願者	合格者	入学者
リーダーシップ開発コース	5名	3名	3名	3名
教育実践開発コース	10名	13名	12名	12名
教科領域コース	15名	28名	24名	21名
特別支援教育コース	10名	7名	7名	7名
計	40名	51名	46名	43名

R3年度入試実績

	定員	志願者	合格者	入学者
リーダーシップ開発コース	5名	5名	5名	5名
教育実践開発コース	10名	16名	15名	13名
教科領域コース	15名	31名	25名	22名
特別支援教育コース	10名	6名	6名	5名
計	40名	58名	51名	45名

※志願者はのべ人数

右肩上がりの受験者数!!



● 2年猶予利用者30-50%

● ストマスの学内進学者率83%

● 愛媛義務教採合格率5年連続100%

● 退学率・休学率 5年連続ゼロ
(経済的理由を除く)

※学部段階での合格者を含む

教員採用試験結果【愛媛志願者】

H28年度入学生

		受験者	合格者	合格率
愛媛県	小学校	6	6	100%
愛媛県	中学校	6	6	100%
愛媛県	高等学校	0	0	—
	合計	14	14	100%

H29年度入学生

		受験者	合格者	合格率
愛媛県	小学校	6	6	100%
愛媛県	中学校	3	3	100%
愛媛県	高等学校	1	1	100%
	合計	10	10	100%

H30年度入学生

		受験者	合格者	合格率
愛媛県	小学校	3	3	100%
愛媛県	中学校	4	4	100%
愛媛県	高等学校	0	0	—
	合計	7	7	100%

教員採用試験結果【愛媛志願者】

H31年度入学生

	受験者	合格者	合格率
愛媛県 小学校	3	3	100%
愛媛県 中学校	4	4	100%
愛媛県 高等学校	4	1	25%
合計	14	11	79%

R2入学生

	受験者	合格者	合格率
愛媛県 小学校	7	7	100%
愛媛県 中学校	6	6	100%
愛媛県 高等学校	7	4	57%
合計	20	17	85%

※ただし、高校は県外を含めると受験者11名、合格者8名で、合格率73%。

募集要項について



出願資格（専攻全体）

- 基本的に大卒で1種免許状所有者（取得見込み含む）
※これに該当しない方は事務にご相談ください

出願資格（現職教員等）

- リーダーシップ開発コース
 - 5年以上の教員経験と主任職経験等がある
 - 連携協力による派遣職員（附属学校等が対象）
- 教育実践開発・教科領域・特別支援教育コース
 - 5年以上の教職経験
 - 連携協力による派遣職員（附属学校等が対象）

出願書類等

- 入学願書
 - 【リーダーシップ開発コース志願者は職歴欄に主任職経験等も記入】
- 受験票・写真票
- 写真
- 卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込み証明書、あるいは学位授与証明書
- 教育職員免許状授与証明書又は教育職員免許状の写し
- 教育職員免許状取得見込証明書
- 成績証明書
- 課題レポート
- 推薦書【現職教員等のみ】
- 実習科目免除申請願及び実践・研究実績等【現職教員等のみ】**
- 検定料払込証明書
- 受験票等送付用封筒
- 志願者名票

実習科目免除申請について

修了要件10単位の实習科目のうち、「連携校実習1」「特別支援教育連携校実習1」を除いた最大6単位までを免除できる制度です。

4単位以上の実習科目免除が認められ、試験に合格した場合、1年修了プログラムを履修することになります。

選抜方法

- 学力試験科目及び試験時間
 - 面接（口述試験を含む）
 - 提出された書類、課題レポートに基づく面接
 - 9:00～ （1名15～20分）

課題レポート【2課題提出】

- 課題a

勤務校（過去の勤務校を含む）及び、実習校やボランティア校等における教育活動において、「①最も力を入れた活動」、「②成果と課題」及び「③その活動を通して学んだこと及び高まった教師としての資質・能力」について記述しなさい。【1,000字程度】

- 課題b

選択したコースにおいて、入学後に取り組みたい実践研究について、「①研究テーマ」、「②テーマ設定の理由」及び「③研究の内容及び方法」について記述しなさい。【1,000字程度】

配点

- 書類審査：100点
- 課題レポート：100点
- 面接（口述試験含む）100点

- 合計 300点満点

採点・評価基準

● リーダーシップ開発コース

- ・書類審査：リーダーシップ開発に係る適性について評価します。
- ・課題レポート：学校経営に関する専門的学力について評価します。
- ・面接：学校経営に対する意欲・課題意識・分析力等について評価します。

● 教育実践開発コース（例）

- ・書類審査：教育実践開発に係る適性について評価します。
- ・課題レポート：教職に関する専門的学力について評価します。
- ・面接：教職に対する意欲・課題意識・分析力等について評価します。

長期履修学生制度

学生が職業を有している等の事情により、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程の履修を認めることができる長期履修学生制度を導入しています。

長期履修学生を希望することができる者は、以下の通りです。

- ①現に職業に従事している者
- ②教育職員免許状を取得するために長期履修が必要と認められる者
- ③その他やむを得ない事情があると研究科長が特に認めた者

修業年限

長期履修学生制度の適用を受けた学生の修業年限は、学則に規定された就業年限（2年）に1年を加えた年数とします。なお、修業年限の変更はできません。

授業料

標準修業年限（2年間）の授業料納入となります（357,000円×3年間）。

授業料

入学料 282,000円
授業料 半期267,900円

- 入学料・授業料の免除制度
- 奨学制度 日本学生支援機構
 - ・無利子 月額50,000円, 88,000円から選択
 - ・有利子 月額5万, 8万, 10万, 13万, 15万から選択

1年制修了プログラム

4単位以上の実習科目免除が認められ、試験に合格した場合、1年修了プログラムを履修することになります。

1年制修了プログラムを履修する現職教員には、修了翌年にフォローアッププログラムへの参加が義務づけられます。週末又は夏季・冬季休業期間中に開講される課題研究フォローアップゼミに参加し、教職大学院研究発表大会等において研究成果を発表します。

先輩からのメッセージ

ご清聴、誠にありがとうございました。

質問タイム



※ぜひご参加ください!! 詳しくはWEBで

● 愛媛大学教職大学院研究発表大会
令和4年2月11日（金・祝）

